

科目名		IT実習			
担当教員	富樫 久夫	実務授業の有無			
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	PCを使い、CAD製図を学ぶ。特に現場で使われているソフトを使用し、実践的な演習・実習。 ①図面の基礎とJIS規格に基づいた製図法、製図の現場で多く使われているJW-CADを学びます。 ②PCを使って平面図に必要なコマンドを1つ1つ習得しながら演習課題を作成し、スキルを上げていく。				
学習目標 (到達目標)	製図、図面の基礎をマスターしJIS規格に基づき製図法を理解し現場で多く使われているJW-CADで製図を作成できるようになり、実践的なスキルを身に付けさせる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	やさしく学ぶJW-CAD8				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	CADとは ①CADの役割 ②JW-CADのインストール	方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①CADの役割を理解する ②JW-CADのインストールを自力でできる 準備学習：教科書を見ながら、操作練習			
2	基本コマンドを使う ①JW-CADの基本コマンド ②基本図形の作図 ③バーチャート工程表を描く ④ネットワーク工程表を描く	方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①JW-CADの基本コマンドが使えるようになる ②線や円の作図と消去、ファイル保存と書き換えができる ③バーチャート工程表を描くことができる ④ネットワーク工程表を描くことができる 準備学習：教科書を見ながら、操作練習			
3	レイヤーを使って図形を描く ①レイヤーを使った図形の作図 ②部屋の平面図の作図 ③文字や寸法の入力	方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①レイヤーを使って図形が描けるようになる ②部屋の平面図の作図ができる ③文字や寸法の入力ができる 準備学習：教科書を見ながら、操作練習			
4	鉄筋コンクリート造建物の平面図作成。 ①通り芯を描く ②壁と柱を描く ③開口部（窓や出入り口）を描く ④家具や備品を描く	方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 鉄筋コンクリート造の平面図が描けることができる。 ①通り芯を描くことができる ②壁と柱を描くことができる ③開口部（窓や出入り口）を描くことができる ④家具や備品を描くことができる。 準備学習：教科書を見ながら、操作練習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業中の課題の提出状況・作成状況・出来ばえを重点にし、授業態度・出席状況を加味して評価する。 授業中の課題90%、授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		アプリケーションスキルをしっかりと身につけるために、最初は確実に基本を固め、操作に慣れた段階で後半には応用力をつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。 現場で使う実践的ソフトでの学習であるため、正確さやスピードなども重視していく。			
実務経験教員の経歴					

科目名		IT実習			
担当教員		渡邊 美歌		実務授業の有無	
対象学科		電気電子工学科	対象学年		2
必修・選択		必修	単位数		
			開講時期		後期
			時間数		32時間
授業概要、目的、授業の進め方		<p>パソコン・デジカメ・デジタルビデオカメラを使い、音声・映像などの編集の仕方を学ぶ。様々なソフトやデータ、材料を使った表現方法を身に付ける。</p> <p>①図面の基礎とJIS規格に基づいた製図法、製図の現場で多く使われているJW-CADを学びます。</p> <p>②PCを使って平面図に必要なコマンドを1つ1つ習得しながら演習課題を作成し、スキルを上げていく。</p>			
学習目標（到達目標）		<p>パソコン・デジカメ・デジタルビデオカメラを使い、音声・映像などの編集を自由にでき、映像・画像をとおして自分を発信できる人間になる。卒業アルバムのクラスページ・クラス動画を自分たちの力で作り上げる。</p>			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		講師が準備するプリント			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	静止画の編集、編集の実際 ①GIMPのインストールと授業データのインストールを行う。 ②部分切り取り、コピー修正		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
2	GIMPを使用したグラフィックス ①写真の補正、切り抜き、合成 ②アルバム用画像ノ準備		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
3	卒業アルバム・クラスページの制作 ①写真の補正やフィルタ効果 ②デザインに生かす方法		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
4	作品発表会と投票 ①アルバムページの作成をする		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
5	動画の編集 ①ソフト機能の理解 ②アルバムページの作成をする		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
6	動画の編集 ①部分切り出し、つなぎあわせ ②編集プラント動画編集等、ソフトの基本操作		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
7	動画の編集 ①ソフト機能の理解 ②ムービーメーカーを使用した編集と利用方法。		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
8	クラスDVDの制作 ①集めた素材を加工して、クラスDVDを作成		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
9	作品発表会 ①クラス全員の作品を上映する。		方法：課題説明→PC操作で課題の作成→解説。 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：配布プリントの予習とPC操作の練習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題80% 平常点20%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			フリーソフトをインストールし、課題を作っていくのがメインの作業のため、新しいソフトを使うときは、使い方だけでなく考え方も覚えなければならず、時間がかかる作業のため、計画的にコンテンツを進めていく。能動的な姿勢も重視することからわからないことはネット等を利用して情報収集を促す。		
実務経験教員の経歴					